

平成 25 年度
新しい共通教育について語り合う会
「フクトーク」
報告書

主催
福山大学 大学教育センター
(全学共通教育部門)

平成 26 年 3 月

●趣旨

学生が国際社会の中で社会人としてのスキルを身に付け、教養を深めて高い見識を持ち、豊かな人間性を培うために共通教育の役割は大きい。そのため、共通教育の今後の充実が望まれる。そこで、魅力的な授業を一緒に考え企画することを学生に呼びかけ、学習の主体者である学生の参加による企画提案型の意見交換会を開催する。

これを通じて、共通教育での学び方の工夫、学びたい科目やテーマ、学修支援のポイントをはじめ学修成果が期待できる様々な工夫やアイデアなど、魅力的な授業方法や新しい学びの創出につなげ、共通教育の充実に資する。

●日 時： 平成 26 年 2 月 17 日（金），13 時～14 時 50 分

●場 所： 大学会館 3F, ICT 教室「CLAFT」

●テーマ：：「理想の授業」～こんな英語の授業を受けてみたい～

●参加学生

経済学部 1 名，人間文化学部 8 名、工学部 8 名、生命工学部 5 名、薬学部 6 名
計 28 名（うち、学部学科選出 25 名、公募 3 名），4 グループ

●プログラム

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会の挨拶（松浦大学教育センター長，松田学長）
- 13:10 全体説明（趣旨，アイデア授業の開設進捗状況）
- 13:15 アイスブレイク（他己紹介）
- 13:30 SGD 説明
 - 3 役（司会進行、記録係、発表）の決定
 - 本学の英語教育の現状説明
 - プロダクトについて
 - SGD のルールや議論の指針について
- 14:40 SGD 開始
- 14:15 まとめと発表の準備
- 14:25 グループ発表と最優秀プロダクト
- 14:40 総評（西田教授＜英語主任＞），閉会の挨拶（松浦大学教育センター長）
集合記念撮影，アンケート調査の実施
- 14:50 解散

●スタッフ

小野准教授，坂口教授，地主准教授，鶴崎准教授，日暮助手，若松講師（五十音順）

●要旨

(全学共通教育部門長 坂口勝次)

「フクトーク」は大学教育センターが主催し、共通教育について学生同士が話し合い、学生たち自身が新しい授業を企画提案する場として昨年度から実施されており、今回が第2回になる。本学の共通教育課程の中から、今回は「英語」についてテーマを絞り、参加学生が学部・学科の所属をランダムに4グループに分かれてグループディスカッションを行った。参加学生の募集方法は、第1回と同様に学内公募と学部学科からの選出の2段階である。会場は大学会館3FのICT教室「CLAFT」を利用した。

プログラムについては、大学教育センター長による開会の挨拶のあと、学長に急きょご臨席賜ったので一言ご挨拶いただいた。続いて、司会による趣旨説明、前回の「フクトーク」のプロダクトである学生の「アイデア授業」を開設する進捗状況を紹介した。そして、テーマ説明、SGDについての説明を行った。SGDに入る前に、アイスブレイクとして、グループ内でペアを組んで相互に自己の情報提供を行い、ペアの相手がグループ全員に自分を紹介する「他己紹介」を行った。そしてSGDを行うための役割について説明し、各グループにおいて司会、記録係および発表者を話し合いで決めた。SGDを始める前に、英語担当教員から語学学修設備整備について最新情報の提供があった。その後、SGDのプロダクトやルール、議論の指針について説明したあとSGDを開始した。

各グループのそばに設置した3面式のホワイトボードを利用して、記録係が議論のメモ書きやプロダクトを記録した。ほとんどのグループが中学・高校を含めこれまでの「英語」の学びについて回顧し、英語で話す機会が少なかったこと、読み書きが多かったこと、単語や文法の暗記が苦手で英語が楽しくなかったこと、教室で習熟度の差が大きいことなどを挙げていた。これらの「英語」の学びの経験から、英語の授業のあり方について真剣に議論された。さまざまな提案が出される中で、各グループから科目名、授業内容、提案のポイントがホワイトボードにまとめられた。そして、SGDの終了10分前にプロダクトのまとめ作業と発表の準備を行った。各グループの発表では、発表者が「新しい授業」の科目名、授業内容、提案のポイントについて説明があった。プロダクトとしての科目名を以下に示す。

①English コミュニケーション

②英語リアン

③英語遊学

④今から君も Hollywood Star !!

※事情により終盤で参加した学生の提案： ⑤TOEIC・TOEFL, ⑥GU

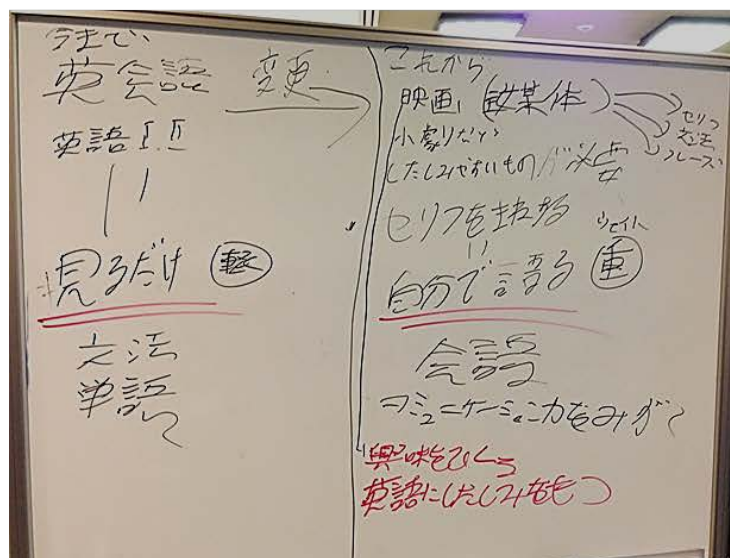
⑤を除いたほとんどのプロダクトに共通していることは、英語を楽しく学べることであり、興味を持って親しみやすい歌や映画、パフォーマンス、SGDなどを利用することであった。

アンケート調査結果から、すべての参加学生が「フクトーク」での話し合いが有意義と回答している。また、前回と同様にSGDへの参加が良好であったことやグループ人数も適切であったこと、前回の改善の結果としてSGDの時間配分は適切であったこと、提案された科目の中で実現を望んでいる科目や内容があること、次回参加への可能性があることに多くの学生が回答している。この他、「フクトーク」の継続を要望する学生もいた。今後の課題として、広報活動の見直しによる公募参加を増やし、プログラムを点検・改善する必要がある。

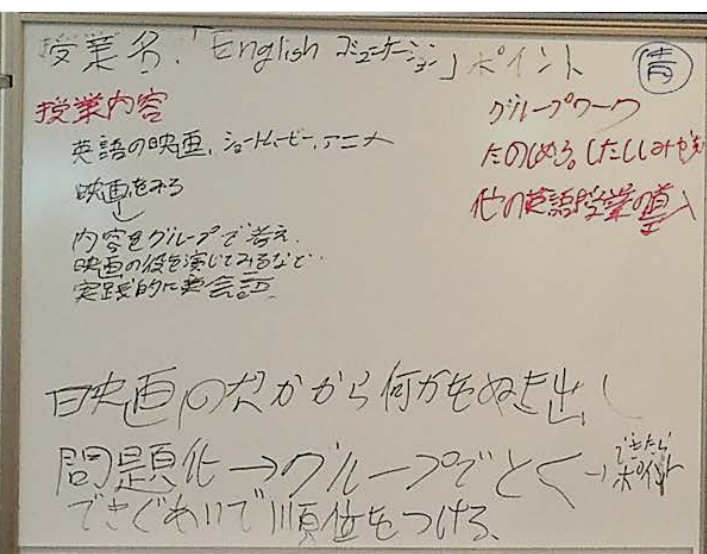
最後に、今回も大学関係の多数の方々にご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

●プロダクト『新しい授業の提案』 青テーブル

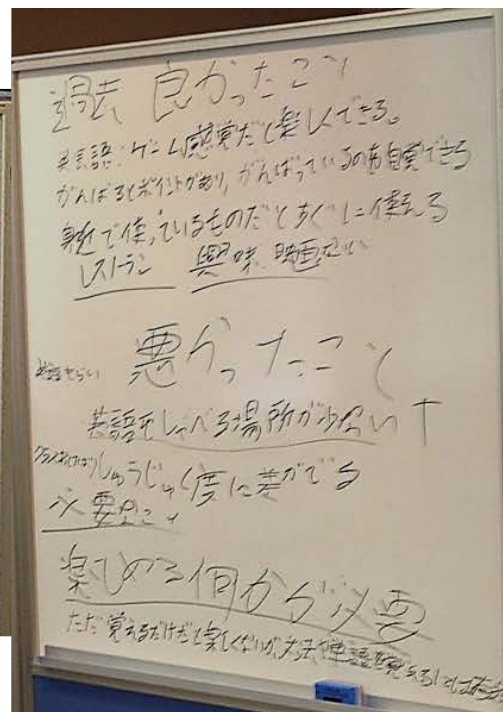
新しい科目名 : 「English コミュニケーション」



メモ (左)



まとめ



メモ (右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 黄テーブル

新しい科目名 : 「英語リアン」

絵本を訳して、自分達で短く作り直してそれを発表。
洋楽を訳して合唱。
グループ内で会話の英語
見る授業と訳す授業を別々にして単位倍増
演じる!?

メモ (左)

(新しい科目名) 英語リアン (黄色)
(授業内容) 絵本を訳す
↓
要約する
↓
まとめ (要約から短い絵本を作る)
↓
発表
グループで
↓
(提案するポイント)
・ 単語・文法が苦手な人でも取りやすい。
・ 英文だけでなく、絵からも和訳の補助となる。
・ 映画の聞き取りから訳をするのは難しいが、絵本なら英文が見れる。

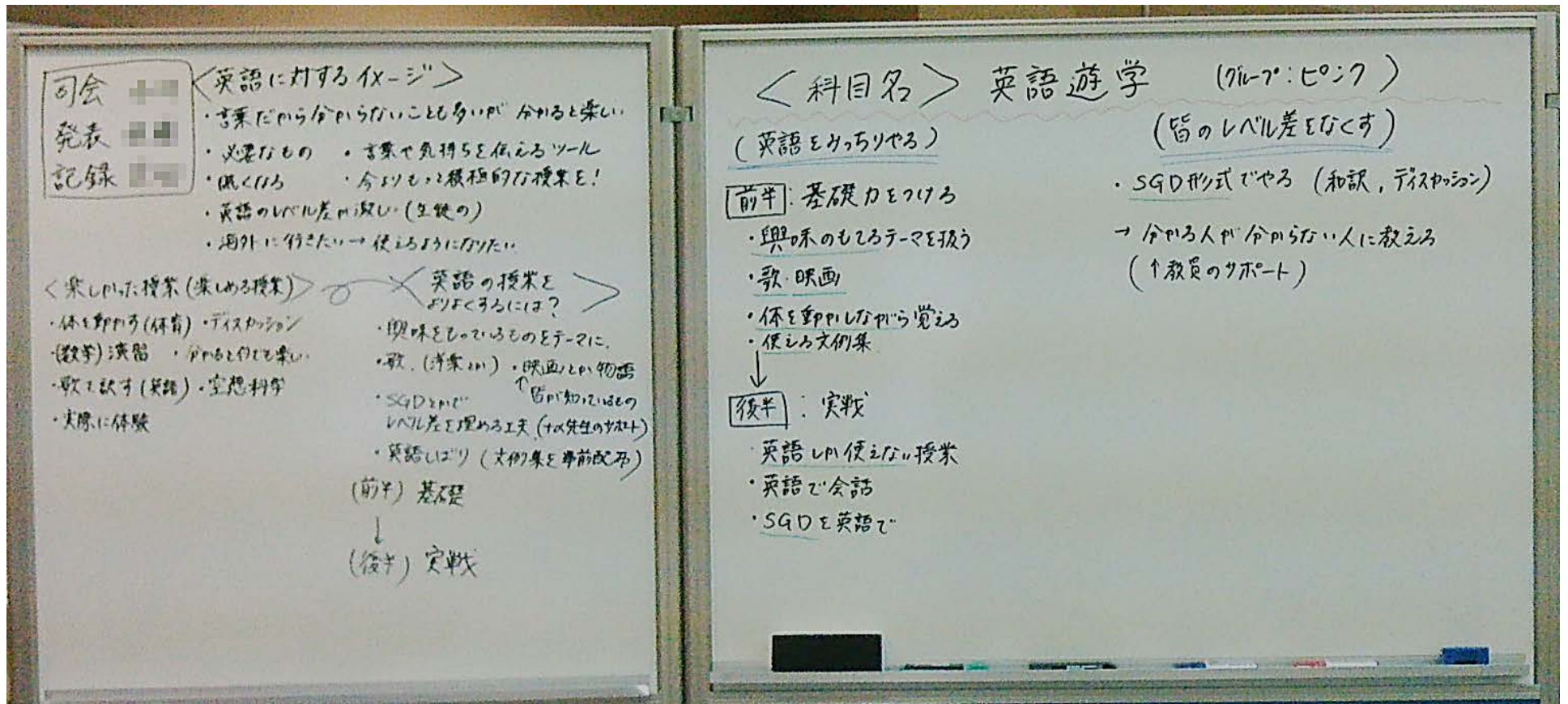
まとめ

① 映画を使う (和訳して etc.)
・ ELTの先生による授業を増やす
・ スピーチ文を自分で考える (語彙力、発音の力アップ)
・ 小グループによる討論 (話す力、コミュニケーション能力)
↓
映画を見て小グループで話し合い要約をつくる調べたことをまとめる。
今までとは問題をしてその答え合わせ→その答えになる理由? (英語の授業に求めたもの) 和訳して論文とかに使う。
会話力が必要とされるのに検定とかは読み書きが多い。
(苦手な点) 単語、文法、→そういう人が入りやすい授業

メモ (右)

●プロダクト『新しい授業の提案』 ピンクテーブル

新しい科目名 : 「英語遊学」

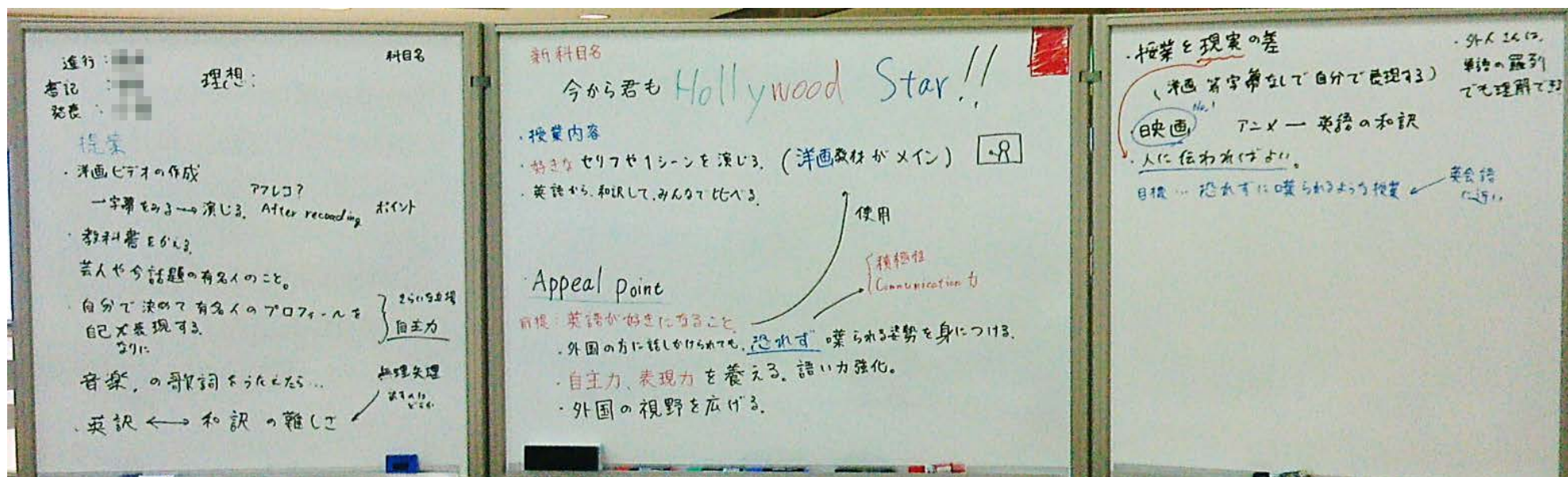


メモ (左)

まとめ

●プロダクト『新しい授業の提案』 赤テーブル

新しい科目名 : 「今から君も Hollywood Star !!」



メモ (左)

まとめ

メモ (右)

●終盤で参加した学生の提案

新しい科目名 : 「TOEIC・TOEFL」 , 「GU」

フットー7

◎ 新しい科目名: TOEIC・TOEFL

◎ 授業内容 : TOEIC・TOEFLで高得点をとれるように
対策 (リスニング、ライティング etc.)

・ TOEICの授業があっても五限とか四限なので
経済学部~~の~~生徒は授業とりにくいです。

・ 就職活動において TOEIC などの英語の資格を
持っている福大生は少ない (経済学部)

・ レベル分けも大切だと思います。

◎ 新しい科目名: GU

◎ 授業内容 : まず英語を好きになつてもらえるように
今はやりの洋楽~~洋画~~を聞いたリ、

英語で洋画を見て耳を慣らす。

洋楽をただ聞いただけではなく
歌詞をみんなが和訳してやり、
和訳する時も紙辞書で調べたりする。



開会の挨拶



全体説明



SGD（スモール・グループ・ディスカッション）



成果発表



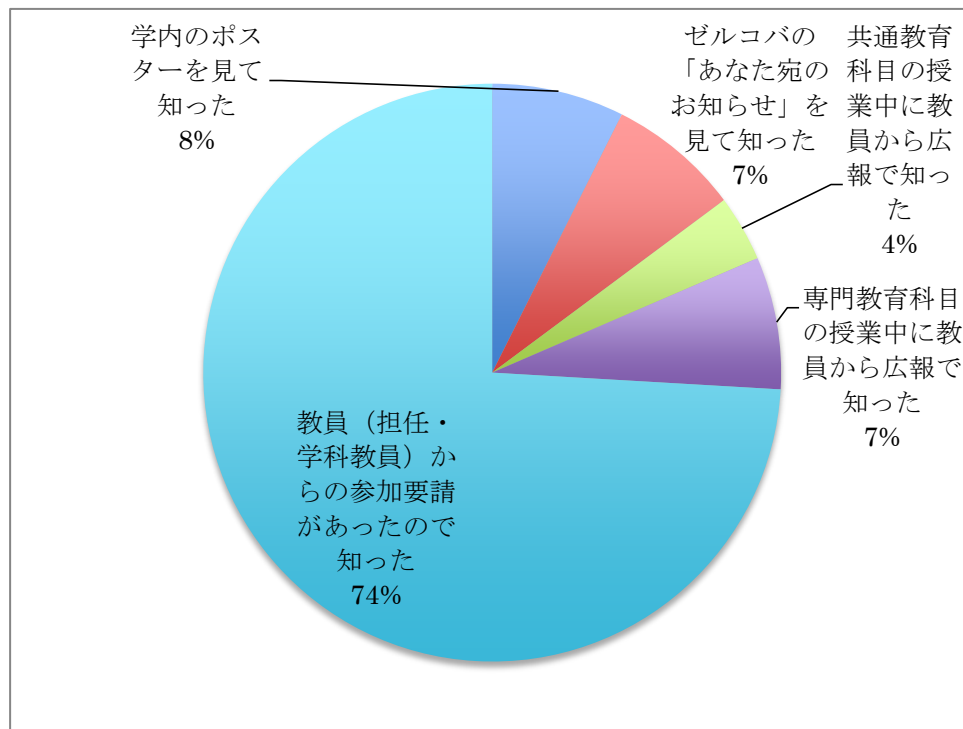
総評

フクトーク参加者 アンケート集計結果

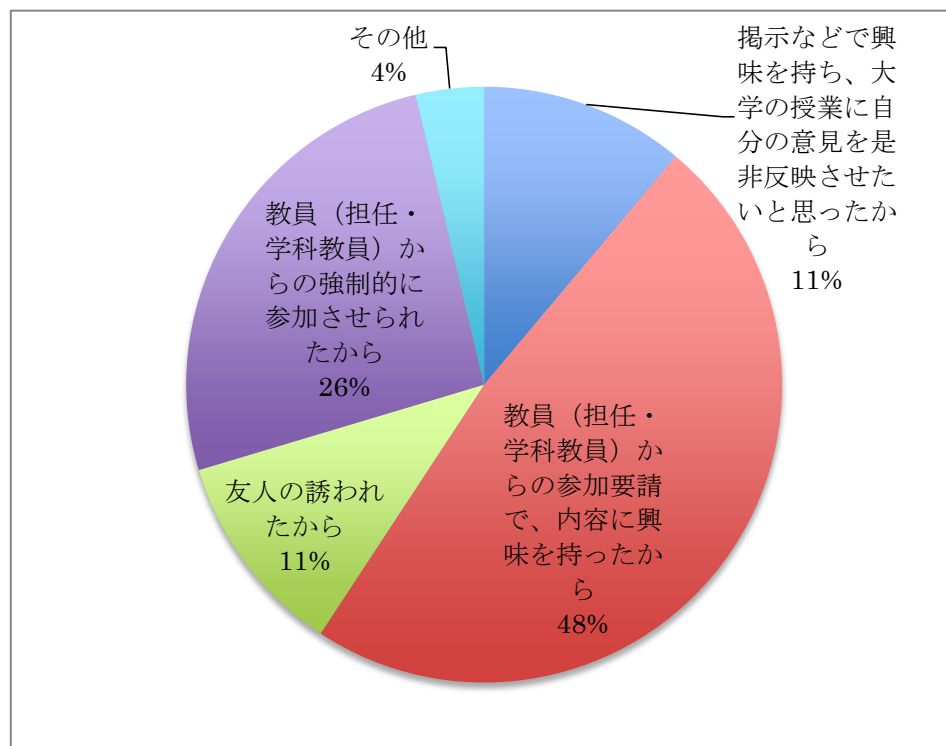
フクトーク学生参加者数 28 名

うち、アンケート記入者数 27 名（終盤参加のため未記入 1 名）

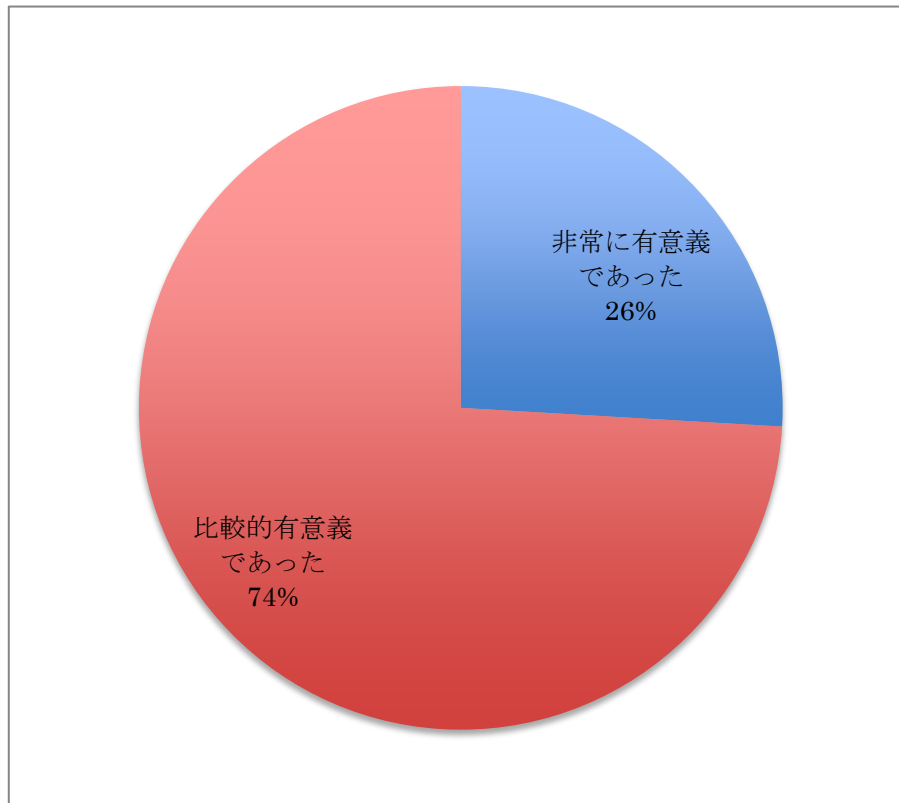
① フクトークをどのようにして知りましたか。



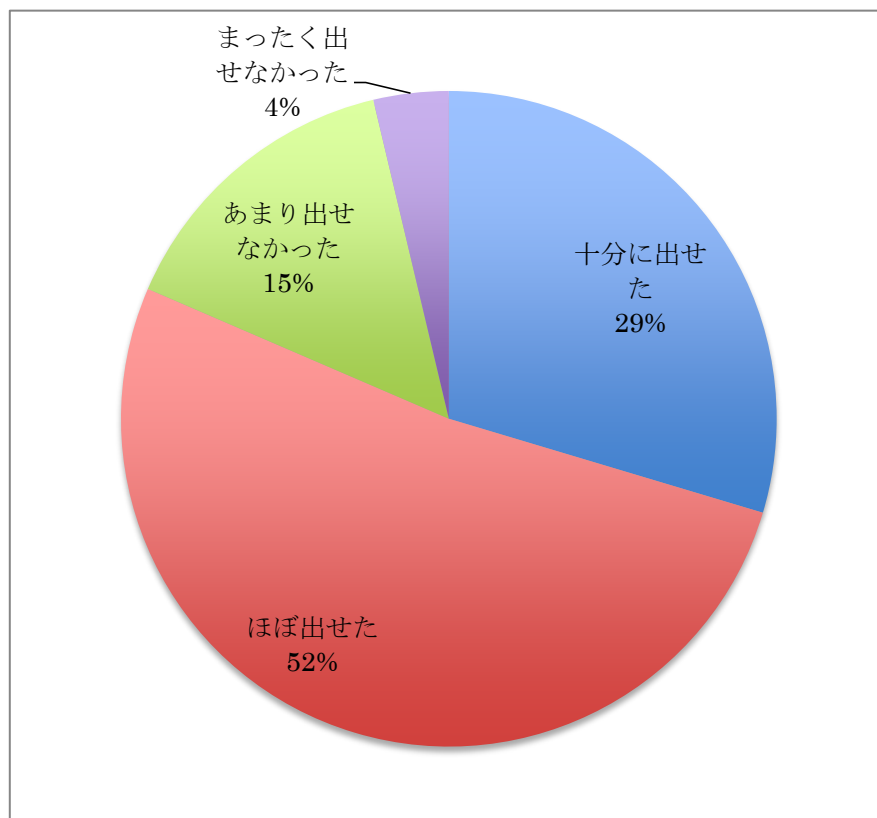
② フクトークへの参加の経緯を教えてください。



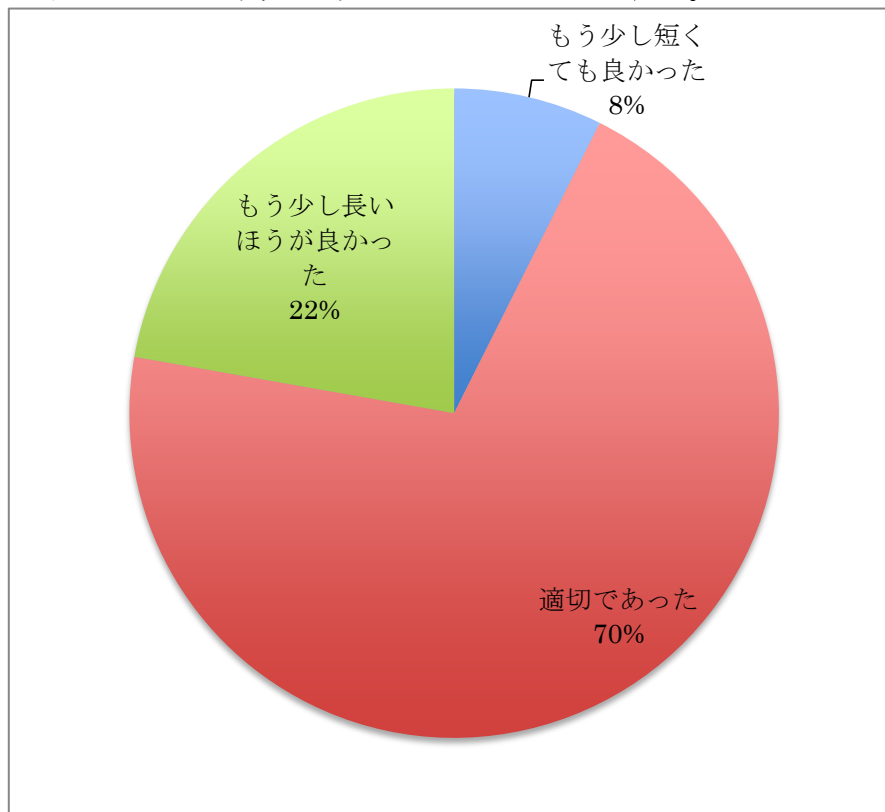
③ あなたにとって、フクトークでの話し合いは有意義でしたか。



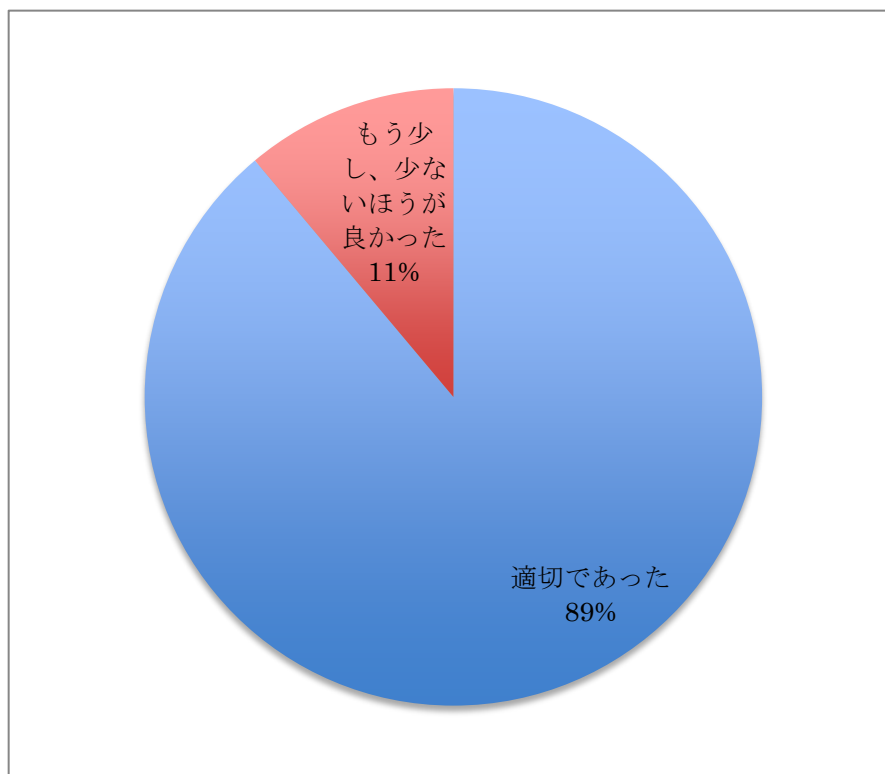
④ グループディスカッションでは、自分の意見を十分に出せましたか。



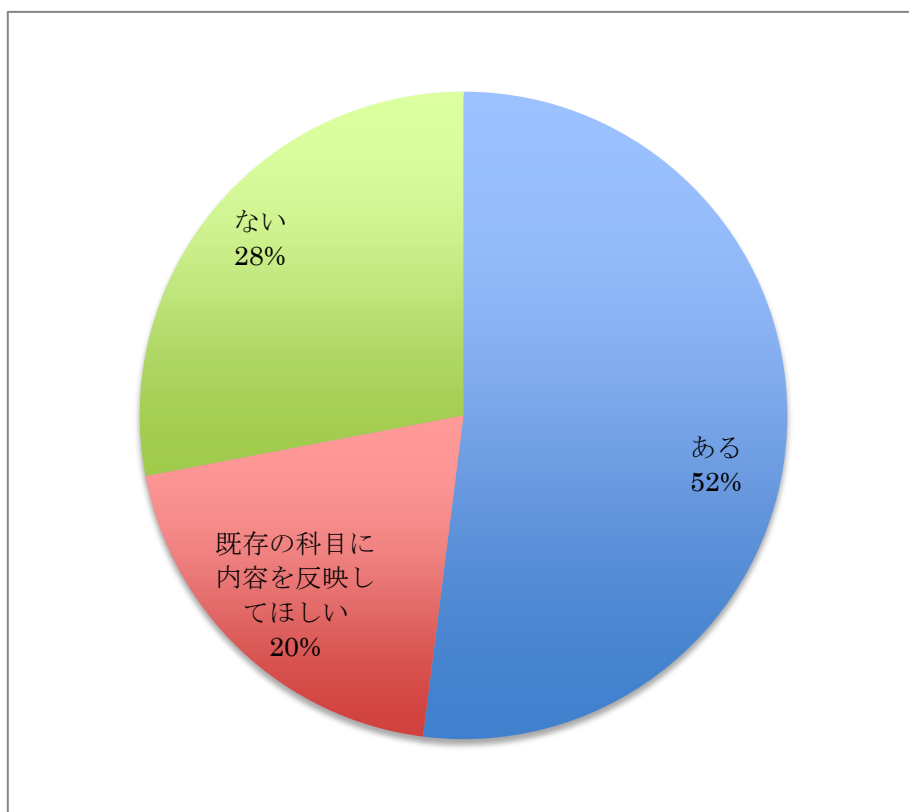
⑤ ディスカッションの時間は適切であったと思いますか。



⑥ グループディスカッションの1グループの人数は適切でしたか。



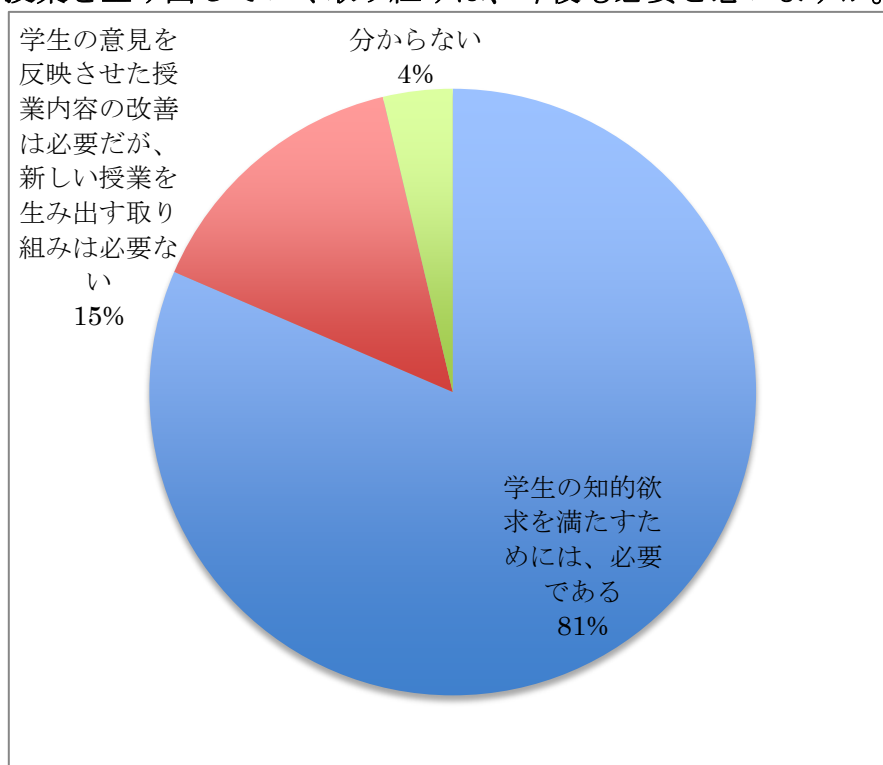
- ⑦ 今回のフクトークで提案された科目の中では是非実現してほしい科目はありますか。



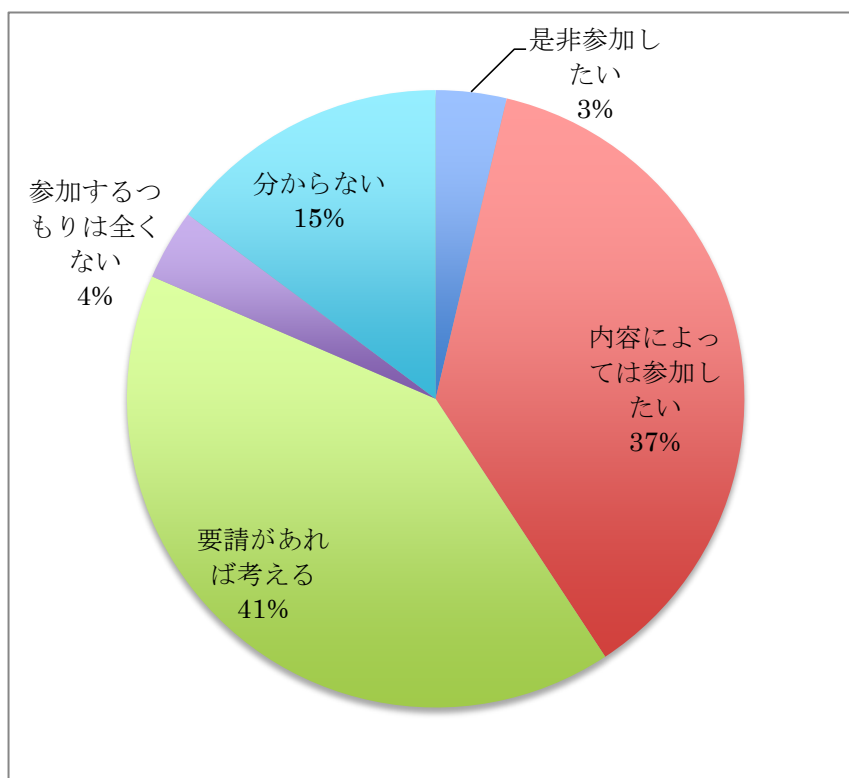
「ある」と答えた学生の科目名など	人数
英語遊学	3
映画、絵本の活用	1
歌や英語の本の原作を和訳すること	1
English コミュニケーション	1
メディアを使ったやつ	1
英語リアン	1
今ある英語の授業の導入にあたるもの	1

既存の科目に反映させてほしい内容など	人数
英会話:SGD 形式、歌、映画の利用	2
英語遊学	1
英語:生徒との会話	1

- ⑧ 今回、共通教育科目の英語について議論をしましたが、学生の意見を取り入れた新しい授業を生み出していく取り組みは、今後必要と思いますか。



- ⑨ 次回のフクトークに参加したいと思いますか。



※ 1.～3.に○をつけた方は、是非、別紙の連絡票に氏名等を記入して提出をお願いします。

連絡票に氏名等を記入したのは、1～3の対象者 22名のうち、**20名**

⑩ フクトークに参加して、思ったこと、考えたこと、改善した方が良いことなど自由に記載してください。

- 記録の仕事が手いっぱい意見を書くことがメインになってしまったので、役割をこうたいさせてほしい。
- "パソコンなどのアクシデントがなければ良かったと思う
- 自己紹介でよかったと思う"
- 景品欲しい
- 定期的にフクトークがあれば良い大学になっていくと思います。
- 楽しかった。学生のためになる事なので、今後もこのような取組みをやっていったほうが良いと思った。
- 教養ゼミ
- 1年生により多く参加してほしい。大学を変えられる可能性がある。
- "とりあえず、名札の名前は間違えないでほしい
- アイスブレイクはもう少しミニゲームにして欲しい"
- "もっと学生が集まる内容で、フクトークを組んだらいいと思う。
- 強制参加がほとんど。"
- 投票の端末が使えたらよかったです
- "意外とたくさんの意見が出た。
- 良いところは継続してほしいと思った"

フクトーク参加者 連絡票

アンケートⅠの⑨で1～3と答えた皆様には、次回、フクトークが開催される時には、優先的に連絡させていただきます。以下に、学生番号と氏名を記入し、提出してください。連絡にはゼルコバを利用しますので、連絡方法の欄は記入していただかなくても結構ですが、電話あるいはメールでの連絡を希望される場合は、ご記入ください。もちろん、個人情報の管理は厳重に行ないます。

学生番号：

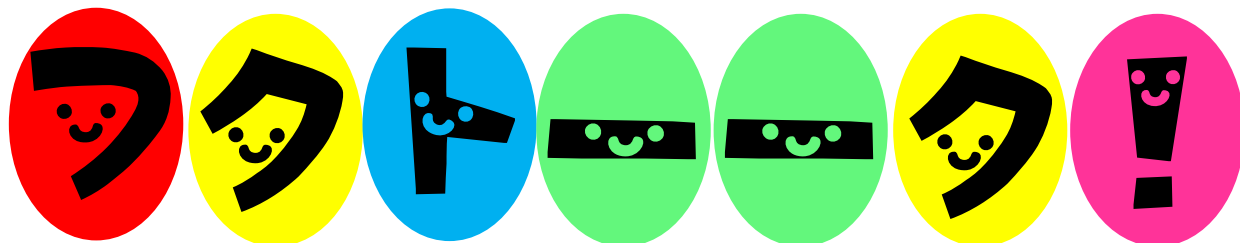
氏 名：

連絡方法（未記入でもかまいません）：

学生

参加者大募集

新しい共通教育について語り合う会



～新しい授業をみんなで作ろう～

福山大学の共通教育の授業について**アイデア**を募集します

テーマ：理想の授業

～こんな英語の授業を受けてみたい～

日時：2月17日（月）13：00～14：40

場所：大学会館 3F ICT教室「CLAFT」

【申し込み先】教務課（申込用紙を用意しています）

【申込締切日】1月30日（木）17：00

【問い合わせ】学習支援・相談室（1号館3階01322）

前回フクトーク「**アイデア授業**」開設進捗状況

<教養科目>

◎就活対策：「**フク☆ナビ**」・「**就活トーク**」

◎コミュニケーション力UP：「**SGD**」

→ 合体した「**キャリアデザインⅡ**」で今年度後期：**実施中!!**

<外国語科目>

◎「**日中コミュニケーション**」（検討中）



【主催】大学教育センター

フクトーク

～新しい授業をみんなで作ろう～

共通教育の充実を図るため、魅力的な授業を学生の皆さんと一緒に考え、語り合う会「フクトーク」を今年度も開催します。

共通教育での学び方の工夫、学びたい科目やテーマ、学修支援のポイントをはじめ、学修成果が期待できる様々な工夫やアイデアなど、みんなで語り合い、魅力的な授業方法や新しい学びの創出につなげていきたいと思います。

- ・日 時： 平成 26 年 2 月 17 日（月）13：00～14：40（100 分間）
- ・場 所： 大学会館 3F ICT 教室「CLAFT」
- ・テーマ： 理想の授業 ～こんな英語の授業を受けてみたい～
- ・参加資格： 学年・学科・専攻は問いません。
- ・申込方法： 下記の申込書に必要事項を記入し、切り離して、参加申込書を教務課窓口付近の指定 Mail Box に入れてください。
- ・申込〆切： 平成 26 年 1 月 30 日（木）
- ・問い合わせ先： 大学教育センター
学習支援・相談室（1 号館 3 階 01322 教室）
- ・特記事項： 応募者多数の場合は抽選になりますので、ご了承ください。
参加結果は、後日、ゼルコバにて個別に連絡します。

—————<キリトリ>—————

新しい共通教育について語り合う会

「平成 25 年度 フクトーク」参加申込書

学生番号		氏 名	
テーマ	理想の授業 ～こんな英語の授業を受けてみたい～		
連絡先（できれば）	電話番号	—	—
ご意見（あれば）			